

種目（家庭）

<div style="text-align: right;">発行者名</div> 採択基準	東京書籍（新編 新しい家庭）
1 教科の目標からの配慮	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践的・体験的な活動を通して、発達段階に応じて必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・ 学習過程が大題材において3ステップで示され、課題を解決する力を育てられるよう配慮されている。</li> <li>・ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、家族の一員として生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を育てられるよう配慮されている。</li> </ul>
2 児童の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性  〔 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等 〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2年間を見通して、衣食住に関する内容が、基礎・基本から応用へと、児童の発達段階に応じて系統的に配列されている。</li> <li>(2) 「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」という3ステップで構成され、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫がなされている。</li> <li>(3) 実践的・体験的な学習例や、児童の主体的・対話的な学びにつながる活動例が取り上げられており、児童が実感を伴って理解できる学習展開となるよう配慮されている。</li> <li>(4) 衛生・安全に関する特集ページが新設され、本文中にマークやチェック欄を用いて、注意喚起されるよう配慮されている。</li> <li>(5) 具体的な手順を示した写真やイラストが配置され、二次元コード、爪見出し等の工夫によって、児童の意欲を高めるよう配慮されている。</li> </ol>
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い  〔 「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価 〕	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 衣食住や消費生活・環境など全ての内容において、統一感、関連性をもって学習できるよう組まれている。</li> <li>(2) 「生活を変えるチャンス！」を設け、学んだことを家庭や地域と連携し、実践的な学習活動が展開できるよう配慮されている。</li> <li>(3) 各大題材の最初に「家庭科の窓」を位置付け、生活の営みに係る見方・考え方の視点を意識して、児童が相互に関わりながら主体的に活動できるよう、題材の取り扱いがなされている。</li> <li>(4) 生活を見つめ、集団や個別で学びながら知識及び技能を高め、資質・能力の習得につながるように学習が配列され、家庭との連携に発展する内容で構成されている。</li> <li>(5) 時代の進展に応じたSDGsの視点や持続可能な社会の構築に関する内容、プログラミング教育、キャリア教育に関する内容が取り上げられている。</li> <li>(6) 題材の各ステップのめあてに呼応した「できたかな?」「ふり返ろう」の欄と、題材全体を振り返る「成長の記録」が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるよう工夫されている。</li> </ol>
4 全体的な特色	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全題材で、具体的な活動内容が示され、問題解決的な学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>・ 2年間の学びの記録が作成できるよう、「成長の記録」により、自己の成長を実感できるよう工夫されている。</li> </ul>

種目（家庭）

<p style="text-align: center;">発行者名</p> <p>採択基準</p>	<p style="text-align: center;">開隆堂出版（わたしたちの家庭科）</p>
<p>1 教科の目標からの配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けられるよう生活の課題から実践につなげる工夫がされている。</li> <li>・ 問題解決的な学習を取り入れ、課題を解決する力を育てられるように配慮されている。</li> <li>・ 各題材に生活を振り返る四つの視点を示し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、日常生活の中の課題を解決する活動を位置付けるなど、学んだことを実践に生かせるよう工夫されている。</li> </ul>
<p>2 児童の学習活動への配慮</p> <p>○内容の程度</p> <p>○学習活動への誘索性</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、コントラスト等</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 2年間を見通して、基礎・基本から応用へと系統的な衣食住の題材配列になるよう工夫されている。</li> <li>(2) 問題解決的な学習に取り組めるよう「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の段階を全ての題材で示すなど構成が工夫されている。</li> <li>(3) 児童が興味・関心をもって追究できるよう、実践的・体験的な学習例や活動例を写真やイラスト等で取り上げ、児童が実感を伴って学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>(4) 衛生・安全に関する事項を写真・イラストで強調して、注意喚起されるように配慮されている。</li> <li>(5) 手順が見開きで大きな横流れで示されていたり、写真や図表、イラスト、キャラクター、二次元コードの配置や配色の工夫がなされていたり、児童の意欲を高めるように配慮されている。</li> </ol>
<p>3 学習指導への配慮</p> <p>○単元・題材の配列</p> <p>○内容の扱い</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「基礎的・基本的な知識及び技能の習得」のための工夫、「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、関連性・連続性、個に応じた指導、他者との協働、まとめと評価</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学習内容に関わる仕事等を取り上げ中学校での学習内容につながるよう、小学校と中学校との学習の連携に配慮されている。</li> <li>(2) 「生かす・深める」を設け、学んだことを家庭生活や地域の行事と関連付けて活用できるように配慮されている。</li> <li>(3) その題材で意識する「生活の見方・考え方 4つの視点」を図で示し、児童が主体的に相互に関わりながら活動できるように、題材の取り扱いがなされている。</li> <li>(4) 吹き出しの問いかけで話し合いの視点を示すことや「生活に生かそう」で日常生活につながる振り返りを位置付けるなど家庭との連携に配慮された構成となっている。</li> <li>(5) 児童が興味をもちそうな日常生活に係る写真や図、イラスト等を示すことで、時代の進展に応じた社会の様々な事象に目を向けることができるよう工夫がされている。</li> <li>(6) 題材の内容に応じて「できたかな」「学習を振りかえろう」「生活に生かそう」の記入欄が設けられ、まとめや評価の観点が明確になるように工夫されている。</li> </ol>
<p>4 全体的な特色</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調理や製作実習の流れが横流れのデザインで統一され、学習の流れがつかみやすいように工夫されている。</li> <li>・ 小学校での学習を中学校の学習につなげられるよう、中学校「家庭分野」の学習内容が写真やイラストでまとめられている。</li> </ul>